



神楽ロードもうすぐ完成

ほん ちよう あき んど
本丁商人とその仲間たち



難波彰浩さん

作りで制作しました。作業は和やかな雰囲気が進むのでいつの間にか時間が過ぎ、いつも深夜に及びました。平成19年12月には大國主命など10体が完成。商店街に

風物詩となっています。そんな彼らが次に取り組んだのが、陶製の神楽オブジェ。この会の代表・難波彰浩さん(60)は「本丁に自分たちで作った神楽のオブジェが並ぶ神楽ロードを作って、吹屋ふるさと村や成羽町美術館を訪れた人に見てもらい、商店街を盛り上げたい」と語ります。オブジェの制作は平成19年1月から開始。会員や、土曜夜市を通じて仲間になった地域住民ら総勢15人ほどが毎週水曜日の夜、会員で陶芸家の田辺典子さん(46)方の工房に集合。田辺さんに指導を受けながら、土ひねり、焼き上げ、ベンガラを使った色付けなど、手



成羽町本丁商店街の若者で組織する「本丁商人」。「本丁から元気を発信して地域を盛り上げよう」と始めた「本丁土曜夜市」は、今では他の地域住民や吉備国際大学生なども参加する成羽の夏の

設置され、お披露目会も盛大に行われました。昨年夏には4体を追加制作、現在は14体の神楽オブジェが商店街に並んでいます。

この神楽ロードの集大成として、昨年夏から「吉備津彦命」と「温羅」を制作しており、近く完成する予定です。今までの14体がおよそ50センチの体長であるのに対し、この2体は大きく、吉備津彦命は剣先までの体長が1メートル30センチにもなり、使った粘土の量も3倍のこと。

1月28日の作業には10人が参加し、2体の上半身と下半身の結合部分の制作など、最終的な微調整を行いました。指導した田辺さんは「素人とは思えない出来栄え。この仲間と作れたことを誇りに思います」。町内下原から参加した加藤裕和さん(47)は、「毎回楽しく参加させてもらった。2体の設置が楽しみです」と話します。

「長年の夢だった神楽ロードがもうすぐ完成。皆さんぜひ見に来てください」と難波さん。

2体は成羽町美術館の入口付近に設置され、3月1日のお披露目会でお目見えします。



郷土資料館がリニューアル



作業を終えた学生たち

向町にある郷土資料館は、明治37年(1904)、旧高粱尋常高等小学校本館として建てられた建物で、市の重要文化財に指定されています。

昭和53年4月に郷土資料館として開館し、市民の皆さんから寄贈された、江戸から昭和にかけての民俗資料など約3000点を展示しています。しかし、開館当初に比べて資料が膨大に増え、その整理が必要となっていました。

そこで昨年4月から、吉備国際大学文化財学部文化財修復国際協力学科と教育委員

会が連携し、館内の現状分析や展示資料の配置替え、展示物の説明板設置などの作業を進めてきました。このほど、その整理作業が終了し、展示資料がより観覧しやすくなりました。

館内には、蓄音機やラジオ、農具、タバコに関するものなど、生活様式の変化の中で消えつつある貴重な資料が多くあります。ぜひ、この機会に、郷土資料館で高粱の暮らしの歴史を再発見してみたいかがでしょうか。

▷入館料：大人300円、小中学生150円（団体割引あり）▷開館時間：午前9時～午後5時

■問い合わせ 教育委員会高粱分室(TEL②10288)、高粱学園入試広報室(フリーダイヤル0120-25-9944)

編集後記

朝の通学・通勤時間帯、備中高梁駅では大勢の高校生・大学生が降り、列になって登校する姿が見られます。高粱市を訪れる観光客などからは、「山あいの小さなまちにしては、若者の姿が多いですね」と小さな驚きを耳にします。

今月号の特集、学園文化都市づくりでは、何人かの学生を取材しました。彼らは、自分の考えをしっかりと持って、生き生きとした表情

で語りかけてくれました。「高粱の印象は」と聞くと、「親切な人が多く、城下町で落ち着いたまち」と答えてくれました。

2月8日には、学生が主体となり初めてのダンスイベントが文化交流館で開かれ、会場は若者の熱気で盛り上がりました。

こうした若い学生のパワーが、地域の活性化につながればいいですね。

(N・K)

まちの伝言板

ヤマセミ・クマタカ観察会



高粱野鳥の会 会長
小見山節夫さん(71)

市の鳥ヤマセミは、数が少なく、生息地も限られています。美しい鳥ですが、なかなか普段見ることが出来ません。また、クマタカも希少な鳥ですが、これから繁殖期に入り、つがいので飛ぶので観察するには、これからのいい時期です。

このヤマセミ・クマタカを多くの人に知ってもらおうと、高粱野鳥の会主催の観察会が開かれます。

当日は市役所前に集合し、バスで新成羽川ダム周辺に移動して観察します。

「成羽川流域は、ヤマセミやクマタカの生息数が多い地域です。山々に草木が芽吹くいい季節、私たちがご案内しますので、ぜひ、ご参加ください。」

「大きい」と小見山さん。

詳細は次のとおりです。

▽日時：3月22日(日) 午前9時～午後2時(雨天時中止)

▽定員：20人

▽参加費：一人1000円(小学生以下500円)

▽申込方法：3月14日(土)必着で、参加希望者の住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、はがきかファックス、Eメールで左記まで

▽その他
●長袖、長スボン、帽子、手袋、運動靴の動きやすい服装でご参加ください。

●昼食、飲物、観察用具(双眼鏡など)をご持参ください。

※双眼鏡がない場合は主催者で準備します。申込時にお申し出ください。

■問い合わせ・申し込み 高粱野鳥の会会長・小見山さん(〒716-1003 高粱市浜町1285-11) TEL②1000・FAX②1741・Eメール koido@bronzeocn.jp)